



板谷議員

問

1、住民に身近な地域自治組織の構築を
2、川根地域での合併をどう実現するか

質問 川根町は平成19年度内の島田市への合併を決めたとの報道がある。当町もさらなる広域合併に進むことも予想される。しかし小規模自治体のままであっても、大きな自治体に組み込まれるとしても、区や集落を基礎としたそれぞれの地域が住民にとって最も身近な行政を担う自治組織として生き残っていきけるものをつくりあげる必要がある。それはまた町と住民の協働による究極の行政改革につながるかと考える。町長の所信を伺う。

町長 私は、住民参加のまちづくりということから町と住民の協働がなければこれからのまちづくりは難しいといっています。そういう意味では自治会というのが一つの核になるのかなと思っています。これを具体的に進めていくには、幅広い議論をしていかなければならない。経費、予算を使ってもこれは行政でやってもらいたいという意見も



元藤川区藤っ子広場

質問 川根地域の一体性について、今までは当たり前前に続いていけるものだと考えられていた。しかし、川根町が島田市との合併を意思表示した今、状況は大きく変わった。この間、川根本町長は県合併推進

答

1、自治会を住民参加のまちづくりの核に
2、幅広い議論が必要では



区民運動会

質問 川根地域の一体性の認識を確認した中で、今の状況は決して良い状況ではない。それでは具体的に、町長はどういうふうに関心を持っていくつもりか。

町長 川根地域の課題については今までも川根町の方々と話し合ってきたが、これからも2町協議会等の場、そうした多方面の協議の場で協議していきたい。その中で川根町が自治体の枠組みとしてはこういう方向にいくんだということもだんだん煮詰まってくると考え



草取作業の後で